

特 集

チャレンジ大阪 7

新産業創出に向けた新たな出会いの場

「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」

～ プラスチックのもののづくりを洗練する 成形・分析技術と材料設計 ～

〈開会挨拶〉

大阪商工会議所 産業・技術振興委員会
委員長 有光 幸紀 氏



大阪商工会議所 産業・技術振興委員会、委員長の有光でございます。本日は大阪市立工業研究所との産官技術交流会にご参加いただき、誠にありがとうございます。皆様とご一緒に、私も本日の研究発表を熱心に聞きたいと思っております。

大阪市立工業研究所は、大正5年、1916年に創設され、今年100周年を迎えられました。心からお祝い申し上げますとともに、100年にわたり大阪の企業を支えてこられたことに対し、お礼を申し上げます。これからご指導いただけますようお願い申し上げます。大阪市立工業研究所は創設以来、地域のものづくり中小企業に密着し、当面する技術的課題の解決や、高い品質や機能を備えた製品づくりのための技術力向上に貢献するという公設試験研究機関が担う基本的かつ重要な役割をたゆみなく果たされてきました。特に研究開発においては、バイオ・食品やナノ材料のほか、化学、高分子材料などに関する成果を長年にわたって積み上げ、これらは大阪市立工業研究所の得意分野とされています。

大阪市立工業研究所の最新の研究成果をものづくり企業の皆さま方にご紹介し、その知見を研究開発や新製品の創出などに活用していただくことを目的とした本交流会は、本日で7回目を迎えることとなりました。本日の発表テーマは、その得意分野の中から「プラスチックのもののづくりを洗練する成形・

分析技術と材料設計」でございます。

今や産業用や民生用の機械・器具・容器など、あらゆる工業製品にプラスチックがふんだんに使用されています。そして、さまざまな機器類の進化にあわせて、熱や紫外線、衝撃などに対する耐久性や剛性、軽量化のみならず、肌ざわりや色合い、光沢などを含めたプラスチックのさらなる高品質化が求められています。廉価なプラスチックの製造は、アジアなどの新興国との競争が非常に厳しいことから、我が国のメーカーは、材料技術や加工技術、評価技術の高度化を進め、付加価値の高い製品をつくっていくことが重要な課題であります。

本日は大阪市立工業研究所の3名の研究者が、それぞれのプラスチック製造に関する最新の研究成果を解説されますので、その知見を皆さま方の付加価値の高い製品づくりにお役立ていただければ幸いです。

大阪商工会議所では、公設試験研究機関や大学などと連携して、ものづくり企業の技術イノベーションや新事業創出をお手伝いする事業を引き続き実施してまいりますので、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。最後に、皆様方の企業がますます発展されることを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。